

川崎市とENEOSによる共同提案がNEDO事業に採択されました ～川崎臨海部のパイプラインを活用したCO₂フリー水素供給モデルに関する調査を実施します～

世界的な脱炭素化の潮流を受け、我が国においてもグリーン成長戦略の策定やグリーンイノベーション基金の創設など、カーボンニュートラル化に向けた動きが加速しています。

こうした中、カーボンニュートラルに向けたキーテクノロジーであり、本市が全国に先駆けて取り組んできた水素について、川崎臨海部におけるポテンシャル等を調査するため、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の公募事業（水素社会構築技術開発／地域水素利活用技術開発／水素製造・利活用ポテンシャル調査）に対し、ENEOS株式会社・ENEOS総研株式会社と市の3者で共同提案を行い、このたび同機構より採択されました。

これを受け、水素に関する川崎臨海部の特徴であるパイプラインを活用した、川崎臨海部を中心とする、海外からのCO₂フリー水素受入・供給モデルについて、事業性調査を実施します。本調査を通じ、既存設備の有効活用および水素パイプラインの拡充に向けた課題等を整理することで、海外からのCO₂フリー水素受入と周辺への供給に向けた川崎臨海部の役割とポテンシャルを明らかにし、川崎臨海部の産業競争力強化と東京湾岸エリアの脱炭素化実現への貢献につなげていきます。

調査事業の概要

1. 事業名称

「東京湾岸エリアにおけるCO₂フリー水素供給モデルに関する調査」（NEDO委託事業）

2. 事業目的

東京湾岸エリアの脱炭素化実現を目指し、川崎臨海部に所在する製油所等の、海外CO₂フリー水素受入基地としての可能性を調査する。さらには、水素受入基地から周辺需要家への、水素パイプラインによる水素供給インフラ構築の実現可能性を評価し、最適な水素供給モデルを構築する。

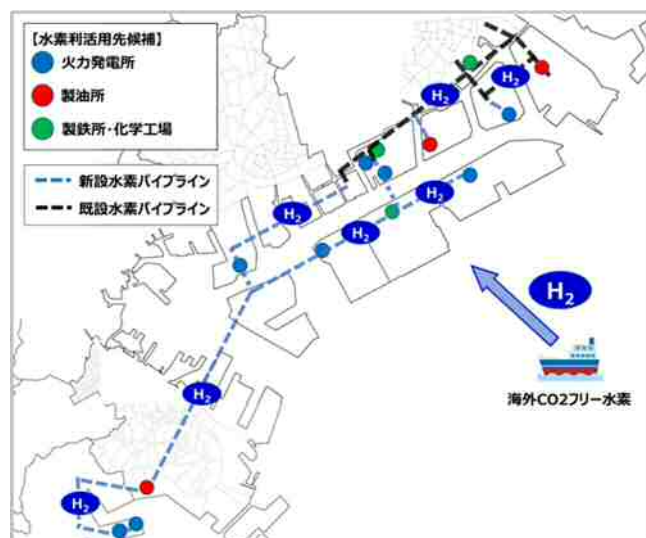
3. 事業期間

2021年度～2022年度

4. 事業概略

様々な産業が集積する東京湾岸エリアにおいて、川崎臨海部を核とするCO₂フリー水素供給モデルの構築に向け、主に以下の項目に関する各種調査を実施する。

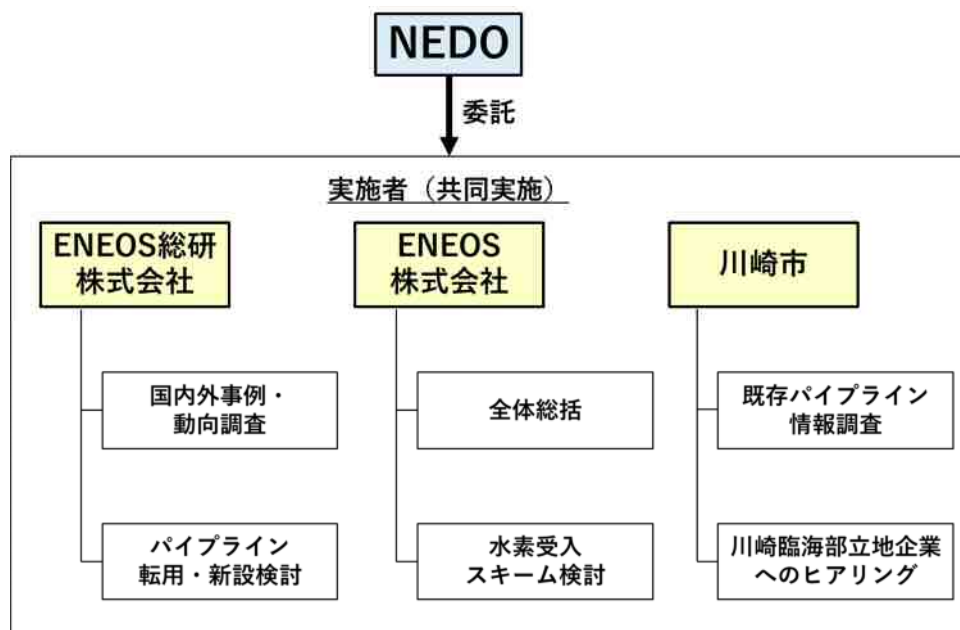
- (1) 海外で製造した安価なCO₂フリー水素を、国内に受け入れる最適なスキームを検討する。
- (2) 既設水素パイプライン網の活用可能性を評価する。
- (3) 水素パイプライン整備の技術課題・規制課題を整理する。
- (4) 構築した「CO₂フリー水素供給モデル」の事業性を評価し他地域への展開可能性を検討する。



【調査検討のイメージ】

5. 実施体制

ENEOS株式会社を代表企業とし、次のような役割分担で実施



6. 期待する効果

既存パイプラインの利活用を検討し、拡充に向けた課題等を整理することで、水素の導入等において障壁となるイニシャルコストの低減に寄与し、水素社会の早期実現を促進する。

また、海外からのCO₂フリー水素の受入・供給に向けた川崎臨海部の役割とポテンシャルを明らかにするとともに、実現可能性を可視化することにより、周辺の需要家における水素利用意欲を喚起する。

これらを通じ、川崎臨海部の産業競争力強化と東京湾岸エリアの脱炭素化実現への貢献につなげる。

（参考）

- ・ NEDO報道発表

https://www.nedo.go.jp/news/press/AA5_101462.html

- ・ ENEOS報道発表

https://www.eneos.co.jp/newsrelease/20210728_01_01_1103035.pdf

【問合せ先】

川崎市 臨海部国際戦略本部 臨海部事業推進部

担 当：篠原

電 話：044-200-2095

メール：59jigyo@city.kawasaki.jp